DMFHF-1(07-09)

取扱説明書 保管用

yamada

埋込ボックス

（一般屋内専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　　　　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕 様

品　名	仕　様	最大送り容量	サ イ ズ
TG-285	単体	12A	113(下面幅)× 1260(下面長さ)× 173(高さ)
TG-286	連結用端部	※	113(下面幅)× 1230(下面長さ)× 173(高さ)
TG-287	連結用中間部	※	113(下面幅)× 1200(下面長さ)× 173(高さ)

※ダクトレールを接続する場合は、１回路12Ａ以下にしてください。
※必ず指定された専用器具を使用してください。
組み合わせ等の詳細は、専用器具取扱い説明書を参照してください。

専用器具名　LF-2905
　　　　　　　SH-4406

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書の中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書の中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークの説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

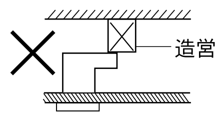
施工上の注意

⚠ 警告

❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

❗ ダクトレールに差し込むケーブルは必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 器具の取り付け部以外の外郭(可動範囲含む)が、天井内の造営材や空調ダクトなどの設備に触れないように施工してください。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。

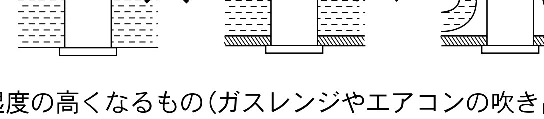


⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室などの湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

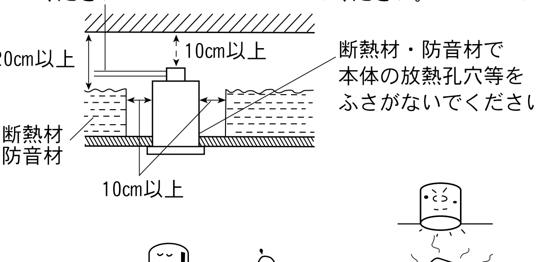
⃠ 天井埋め込み専用です。壁面など天井以外の場所や傾斜天井には設置できません。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。

住宅の断熱施工天井には使用できません。
★ブローイング工法・マット敷き工法の天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。

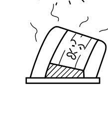
ブローイング工法　　マット敷き工法



—住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法—



⃠ 湿度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。



⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

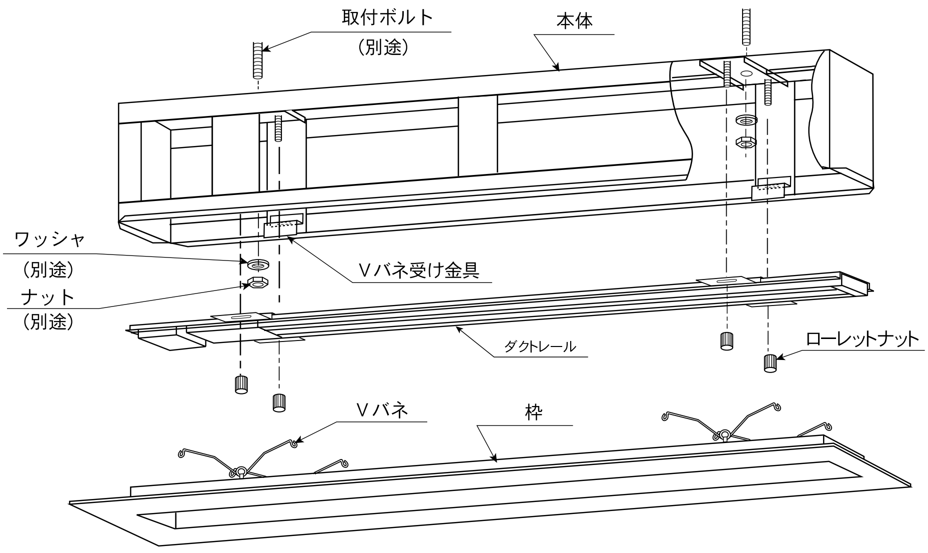
⚠ 注意

- ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
  ★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、蓄電池の破裂や火災の原因となることがあります。
- この器具は周囲温度５℃～35℃の中で使用してください。
  ★過熱して発煙や火災の原因となります。
- ⚠ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
  ★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

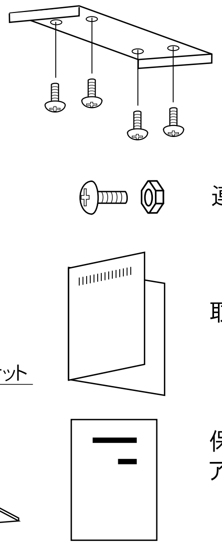
各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、販売元または山田照明サービス窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】



連結金具　・・・・・・・1個
連結金具用ネジ　・・4個
（TG-286・287のみ）

連結用ネジ、ナット・・・各2個
（TG-286・287のみ）

取扱説明書(本書)・・・・・1枚

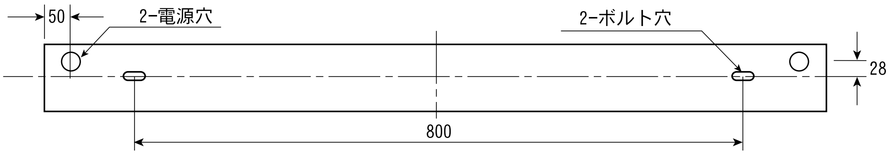
保障と
アフターサービスについて・・1枚

取り付け場所の確認

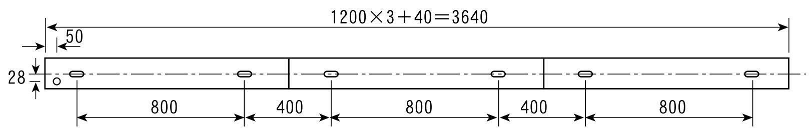
⚠ **警告** 器具の取付は、重量の耐える所に説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●TG-285

天井切込穴寸法
1240×95

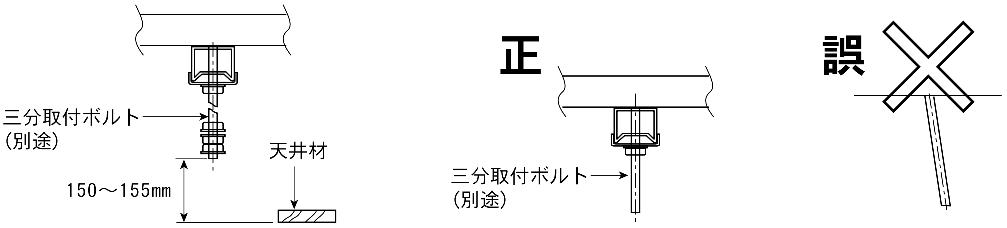


■システム展開
フォーマット
TG-286×2＋
TG-287×1



天井切込穴寸法
（1200×N連結＋40）×95

1. 天井切込孔寸法および三分取付ボルト位置を確認してください。
2. 取付ボルトはレースウエイ等を使用し、必ず垂直に降ろしてください。
   ※傾斜したボルトはボルト受金具に無理な力が加わり、器具変形の原因となります。
3. 事前に取付ボルトの長さを調節してください。天井面からボルトの先端まで150〜155㎜です。



取り付け方 ⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

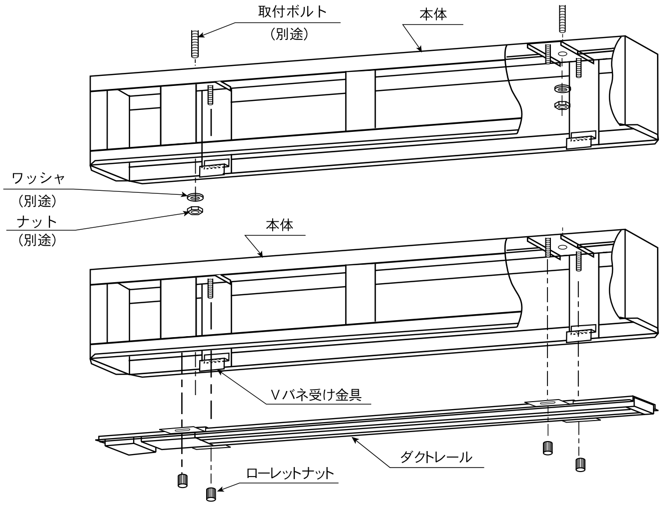
⚠ 注意

❗ 器具の取付は、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。

❗ 端子に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を仕様してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

1. 本体を天井に取り付けます。

①電源線を本体の電源穴に通します。
②取付ボルトに本体を通し、ワッシャとナットで仮止めします。
③ナットを均等に締めて固定します。
その際、本体が水平を保つように調整してください。

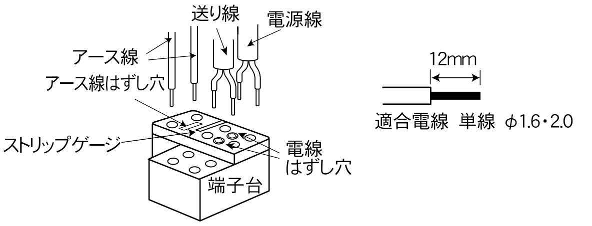


2. ダクトレールを取り付けます。

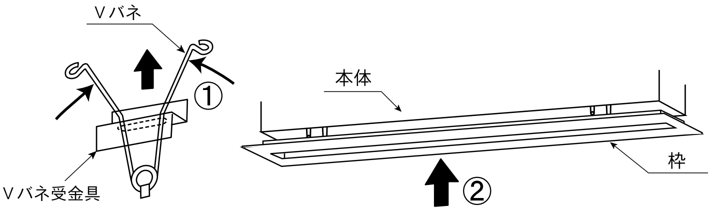
ダクトレールを本体にはめ込み、ローレットナットで固定します。

3. 電源線を接続します。

①電源線を電源用端子台のゲージ(12㎜)にあわせ剥きます。
②電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、幅６㎜のマイナスドライバーの先をはずし穴に差し込んで抜いてください。

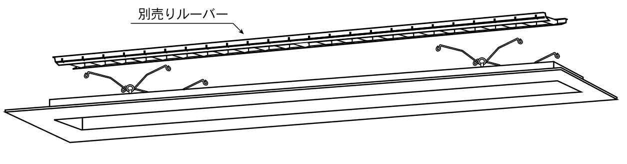


③別売りの照明器具取付の妨げにならないように、電源線を押さえ込んでください。



4. 別売りの照明器具を取り付けます。

別売りの専用照明器具を説明書に従い取り付けます。
専用照明器具以外は取り付けないでください。



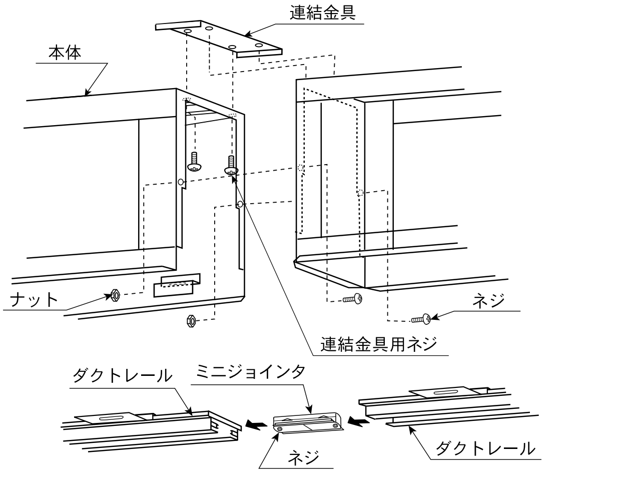
5. 枠を取り付けます。

①枠のＶバネをＶバネ受金具に引っ掛けます(４ヶ所)。
②枠を本体に押し上げます。
●別売りルーバーをご使用になる場合は、枠を取り付ける際に別売りルーバーを枠の上に置いて、枠を取り付けてください。

◆連結方法

●本体の接続
①連結金具を本体の上からかぶせて、連結金具用ネジで固定します。
②ネジとナットで本体の側面を固定します。

●ダクトレールの接続
ミニジョインターをダクトレールの先端にはめ込み、ネジを締め付けます。(２箇所)



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明営業所にご相談ください。